|  |  |
| --- | --- |
| タイトル | ATEC事業：2021-3-7：自発報告を含む安全情報の有効な利用に関する調査・研究WG（第7回） |
| 日時 | 2022年2月24日（木）14:00-17:30 |
| 場所 | ATEC会議室 |
| 参加者(敬称略） | JCAB：若松(欠)・古賀・犬飼、 ~~MHI：坂口~~ANA：久下・河田(欠) 、 JAL：宮地・辻井 、 ADO：岩田・石郷岡ATEC：黒畑(欠)・秦・宮代 |
| 備考 | 資料：ATEC HP参照：<https://atec.or.jp/wgmembersonly/> [①2021年度 第8回WG 議事次第](http://atec.or.jp/wp-content/uploads/2021/06/%E2%91%A02021%E5%B9%B4%E5%BA%A6-%E7%AC%AC1%E5%9B%9E-%E6%90%AD%E8%BC%89%E7%AE%A1%E7%90%86WG-%E8%AD%B0%E4%BA%8B%E6%AC%A1%E7%AC%AC_R1.doc)[②](http://atec.or.jp/wp-content/uploads/2021/06/%E2%91%A1R3%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E7%A0%94%E7%A9%B6%E6%A1%88%E4%BB%B6%E9%81%8B%E8%88%AA%E6%8A%80%E8%A1%93%E5%B0%82%E9%96%80%E5%A7%94%E5%93%A1%E4%BC%9A-%E6%8A%9C%E7%B2%8B.pdf)2021年度 第7回WG 議事メモ\_安全情報有効利用\_2021.01.24 [③](http://atec.or.jp/wp-content/uploads/2021/06/%E2%91%A2%E3%80%902021-06-001%E8%A8%88%E7%94%BB%E6%9B%B8%E6%A1%88%E3%80%91%E6%90%AD%E8%BC%89%E7%AE%A1%E7%90%86%E6%A5%AD%E5%8B%99%E3%81%AB%E4%BF%82%E3%82%8B%E6%95%99%E8%82%B2%E8%A8%93%E7%B7%B4%E3%81%AE%E6%A8%99%E6%BA%96%E5%8C%96%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E3%83%BB%E7%A0%94%E7%A9%B6.doc)課題提起-安全情報の分析と共有100出し\_最終版④R3年度 自発報告を含む安全情報の有効な利用に関する調査・研究報告書ーDraft\_202202017 |

**【議事メモ】**

* **１．開会**

事務局 本日の議題について概略説明。前回議事録のとおり、本日は報告書の中身中心に議論したい。

* **２．前回の議事録確認**

事務局 すでに照会、コメント反映済み。修正等あれば本WG中にコメントをお願いする。
→特段の意見はなく、本案をもってFINALとする。

* **３．前回のアクションアイテムのフォローアップ（確認）**

**１）・ ポータルへの追記（本邦各社からの積極的情報提供）＜航空局＞**

古賀 JCABポータルサイトには4行のリード文に加え、JAL/ANAから提供された資料を含め4点を今年度追記掲載した。プロバイダーによる良好な取組の事例についても今後もリンク付けを行っていきたい。

宮地 せっかくなので良い情報があれば我々も適宜情報提供したい。また古い情報はアーカイブするのもいい。

辻井 SMICGのもととなる文書（JCABも関与し作成された日本語版）もぜひ掲載してほしい。

秦 辻井さんから入手し、JCABにてHPへアップすることとする。

古賀 承知した。 （JCAB Action）

**2）・ DB入力ばらつき対応（AI等活用可否：委託先確認）＜航空局＞**

秦 MHI坂口さんからの要望アイテムで若松さんには前回お願いしたところ。AIなどを用いれば入力のバラツキが防げるのではないかとの意見で、開発ベンダーに問い合わせしたほしいとの趣旨。

宮地 引き続きJCABにて検討をお願いしたい。

秦 将来的にできる/できない の見極めをお願いしたい。

古賀 承知した。 （JCAB Action）

**3）・ 義務報告の分析評価に関する質問への回答 ＜航空局＞**

秦 本件は、JCAB内で権限のある若松さんに回答いただきたく前回WGの宿題としてお願いしたもの。

犬飼 前回議事録は確認しているが、若松さんの調整状況は承知していない。

宮地 本件も引き続き対応をお願いする。

秦 本件のJCABとしての回答次第で報告書への記載内容も変わるため、早期の回答をお願いする。

犬飼 個別案件における重大度のレベル・カテゴリー分析は行っているが、プラスアルファとしての以降の分析をしているか否かは承知していない。

秦 WGとして結論を得る必要があるため、若松さんに引き続きフォローをお願いする。（JCAB Action）

* **4．効果的な評価・分析手法についての検討**
1. **安全情報の分析・共有等に関する提言 ＜WGリーダー＞**

秦 皆様から出していただいた100出しを項目毎にキーワードも添えてまとめ直した。重複している項目も中にはあるため、整理のうえ、報告書の提言の一部として掲載してはどうかと思う。

宮地 本文との重複も一部あるため、本文は説明にとどめ、リストを提言としてまとめるのも良いかもしれない。

秦 いずれにしても項目・内容を整理したうえで、提言という形でアウトプットしていきたい。

久下 報告書案の中にもかなり重複して書き込んでいただいているようだ。

秦 2週間後の3月10日（木）を期限として、重複部分の削除を含め中身を精査していきたい。

 （WGメンバー Action）

宮地 ASICSSの利用ガイドの項目は重要だと思うが、本文に載せるのはどうか。秘匿化などの項目とは種別が異なるように思うが。

秦 KEYなる項目であり、ぜひ掲載したいが本文に載せるか、提言に含めるかは検討が必要だが、提言に含めても違和感はないと思われる。修正入力用フォーマットは事務局で作成する。 （Action）

* **5．報告書の検討**

秦 現時点の「報告書案」をもとに、内容の詳細を確認。

＜まえがき＞

宮地 国交省航空安全情報ポータルサイトへのリンクを追記する。

石郷岡 ASICSSのタイポを修正。

秦 航空安全監視システムをAISCSSの後のカッコ書きとして記載する（ASIMS同様）。
1行目の不確実性は「航空需要回復への不確実性」とする。
Total System Approachは、「トータルシステム・アプローチ」に統一する。

＜添付CDの内容＞

秦 掲載したいAppendixがあれば資料提供と追記をお願いする。IATA Safety Report2020はページ数が多いので、CDのみに格納する。資料を事務局まで送付をお願いする。

＜第Ⅰ章 調査研究の背景と目的＞

秦 追記があればお願いする。

岩田 目的の中のASICSSに関する記載部分が航空中心になっているがJCABから見て問題ないか。

古賀 航空会社視点での今の書きぶりで問題ないと思う。

＜第Ⅱ章 ワーキング・グループの構成＞

秦 宮地さんの機長資格にB787を加える。

＜第Ⅲ章 ワーキング・グループ（WG）の活動経緯＞

秦 特に修正点なし。

＜第Ⅳ章 調査内容および対象について＞

秦 リード文として宮地さんの方で今年度取り組んだ内容のサマリーをまえがきとは異なる表現で数行追記する。

「1.本邦における安全文化醸成と自発報告の更なる促進」の中で、“広く周知”や“再周知”とあるが、具体的な取り組みを記載する必要があるのではないか。→JCABにて確認する。

「1-2.自発報告の更なる促進に対する取り組み」の主体として、空港も追加。

「1-2-2.航空会社における・・・」の自発報告の件数を“約800件”へと修正。「自主報告」と「社内義務報告」の書き順の入れ替えおよび「自主報告」の定義の修正（一定度のリスクを伴う不具合事象へ）。

「1-2-2.航空局における取り組み」をJCABにて箇条書きから文章へ修正のうえ、内容をさらに加筆する。

「2.本邦における安全情報の評価・分析手法等に関する課題や方策」にて、“横断的なハザードを特定することができる”と書いてあるが、これでよいか？コメントがあればお知らせ願いたい。

「2-1.航空安全監視・・・」にて、“ひいては本邦の航空システムの安全性向上に繋げることができる”としているがこれでよいか？→全体的に内容をJCABにて吟味・検討いただくこととする。

「2-2-1.安全データの分類」の1項にて、ADREPのTaxonomyを参考添付しているものを航空に特化したものへ差し替える。また3項のSPI-TFのリンクを、4項末尾にAppendixを参照する旨を追記する。

「2-2-2.安全データの活用」の図右下を英語表記から日本語表記“安全マネジメント”へ修正し、また2項における活動の詳細（IATA Safety Report 2020）はCDの中に掲載することとし、IATAダッシュボード図は鮮明なものへ差し替えを行う。

「2-3.ASICSSの課題と提言」のリード文の“安全性能”を“安全達成度”へ変更。1項末尾の“一方”以降の内容は本文から削除し、2項の書き出し部分についてJALにて補足・肉付けを行うとともに、箇条書きとして列挙している100出し項目の妥当性についてJCABにて確認を行い、2項および3項全般の確認を全員で行う。

「3.本邦における安全情報の共有・交換ネットワーク」の3-2項1)の表の“分析”および2)の表の“共有方法”ならびに本文中の安全情報分析委員会の開催頻度の修正。

＜第Ⅴ章 まとめ＞

秦 1項（まとめ）について、海外調査の記載ぶりを検討するほか、更なる加筆を検討。またWGメンバー全員にて内容を再度精査・確認。2項（過去の提言）は、ほぼフォローされている実態を踏まえて削除してもいいのではないか。

宮地 なくしても良いと思う。ただし、今年度の活動の成果物はしっかり「提言」として盛り込んでいきたい。

秦 報告書の確認および加筆修正はタイムリーにお願いし、100出しの整理は3月10日（木）までにお願いしたい。

* **6．その他**

秦 3社から継続要望が出ているため、来年度も「継続」としていく方向。リーダーについては、ANA久下さんもしくはJCABさんが担っていただいても良いかと思う。次回結論を持ちたい。
4月のWGは現時点で想定しないが、次回WGでFIXできない場合は、4月開催を検討する。

* **7. 次回W/Gの開催予定**

事務局 次回第9回WGは、3月28日(月)14:00～16:00@ATEC会議室を予定。

以上